

株式会社ANJOインターナショナル
インターネットコースによる国際資格取得「CPAコース」他

Q. インターネット上での資格講座にストリーム(ePresenter)を導入した経緯をお聞かせ下さい。

安生氏 教室以外での受講方法としては、学校設立当初からビデオテープを使った通信講座などをサービスしてきました。インターネットでの教育は、インターネットが一般にも普及し始めた2~3年前から検討し始め、昨年(1999年)から導入を開始しました。ちょうど、98年頃から、アメリカでインターネット教育が一般的になってきていて、日本も当然将来そうなるだろうと思っていたところでしたから、スタートするにはいいタイミングだったんです。

ただ、導入当初はテキストベースだったのですが、インターネットコース用に新たに教材を作らなければならず、コスト的な問題があり、なんとかインターネット講座と既存の講座と、双方の利点を生かしたシステムを作れないものか考えていたんです。そこで、ビデオ通信講座と同じように、教室での授業を録画した映像を、ストリームで配信することにしました。「One Source, Multi Use」というわけです。これは受講者側にとっても、通学生と全く同じ授業が受けられる安心感があり、非常に良い方法でした。

インターネットでの動画配信の導入は、ちょっと時期が早いかなとも思いましたが、こういうことは、まずはやってみることが重要なんです。そうしないと受講生からのフィードバックも得られませんからね。

Q. オンライン教育ツールとして、ストリーム(ePresenter)を活用されたことで、どのようなメリットがありましたでしょうか？

安生氏 ストリーミング映像による臨場感はとてもよいと感じています。インターネットコースでは、この授業の臨場感を大切にしたいと考えています。受講者にとっては、映像の鮮明さや先住しる、講師が動いていることが重要なんです。臨場感を保つために、ストリーミングに使用しているビデオも、常に最新のものを用意しています。

それから、ePresenterでの配信は、動画の臨場感に加えて、パワーポイントスライドでの解説の見やすさが良いですね。実は、ePresenterの導入に際して、通常の授業もホワイトボードへの板書からPowerPoint方式に切り替えただんです。板書する時間を説明に当てることができるようになったので、より密度の濃い授業ができるようになりました。

導入に際しては、このようにインターネットコースはもちろんそれ以外の講座でもメリットがあったので、デメリットは先メリットの方が大きかったと思います。

ANJO インターナショナル
MONTANA STATE UNIVERSITY-BILLINGS

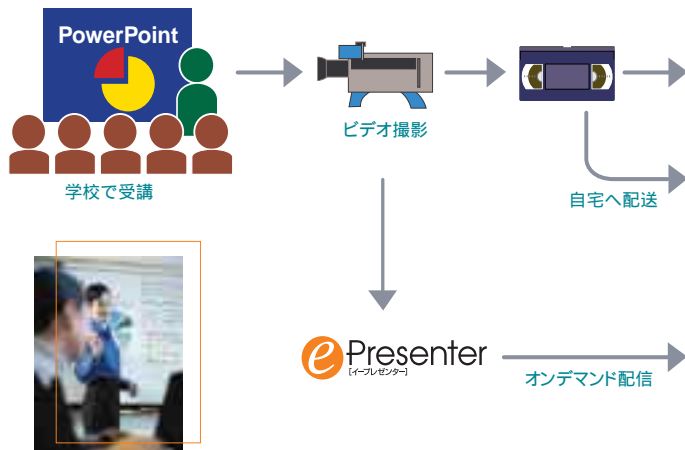


株式会社ANJOインターナショナル
代表取締役社長
安生 浩太郎氏



CPA(米国公認会計士)資格に代表される、国際資格の取得教育に1999年6月よりインターネットコースを導入。2000年7月リニューアルし、実際の教室で行なわれた授業を録画したビデオと、授業で利用しているPowerPointのデータを流用して、臨場感を大切にしたいePresenterによる新しいインターネットコースを開始している。

<http://www.anjo.co.jp/>



ビデオで受講(通学)



ビデオで受講(自宅)



インターネットで受講

Q. インターネットコースを受講されている生徒さんの反響などございましたらお聞かせ下さい。

安生氏 受講生からお互いにもっと交流できる場が欲しいという要望があり、ANJOフォーラムという掲示板を始めました。昨年までは、インターネットコースの受講生だけに限定していたんですが、現在は全受講生に開放しています。そうすることによって、私たちとしても受講生のニーズをもっと把握できますしね。

今のストリーミング技術に100%満足しているわけではおませんが、コンテンツは今の技術の中でベストを作るようにしています。その中で常に改善を加えているので、受講生の満足度は高いと思っています。

インターネット講座はスタートしたばかりですから、割合としてはまだそれ程多くありませんが、インターネット受講生は、方向性でいうと増えるのは確実だと考えています。海外からの受講生の増加や、国内の通信環境の整備などで、受講生は増えていくでしょう。

Q. インターネット教育の今後の展開についてお聞かせ下さい。

安生氏 社会人には時間がありませんから、スクールに通学するより先自宅でインターネットなどを使った教育がどんどん一般的になっていくことでしょう。場所や時間に制約されずに学習できるのは、忙しい社会人にとって大きなアドバンテージです。その意味で、このePresenterを使うようなインターネット教育は、多様なニーズに対応できる教育システムといえるかもしれません。

今後は、ビデオ講座に代表される教育のノウハウを他の学校に提供するという、教育のアウトソーシングに力を入れていきたいですね。同じことがインターネット教育でもできると考えています。他の学校が一から設備投資しなくても、ANJOインターナショナルのノウハウを提供していきたいと考えています。